

---

# 本屋で自爆

源雪風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

本屋で自爆

### 【Nコード】

N2270L

### 【作者名】

源雪風

### 【あらすじ】

本屋で、アレゲな本を手に入れるため、がんばったが……。

どうしても本屋に並んでいない本が欲しくって欲しくって、一か月悩んだ末、注文しに行った。

その日は本屋がポイント五倍デーだった。それゆえ、レジが大名行列のようにひどく並んでいた。列に並びながら、私はずっともじもじしてた。なんせ注文する本が・・・ねえ。

ようやく番が回ってきたぞ。

本の名前が書いてある紙を店員さんに渡す。

そんで、手に汗を握って

「この本、注文します。」

と、言っただけだよ。

そしたら、マニュアル通りに

「少々お待ちください。」

と言われた。

よくよく店員さんの様子を見ていたら、私が後回しにされたことが分かった。

いや、後回しにされてもいいけどよう。

どうしてよりによって今回に当たっちゃまうんだよう！

この前混んでいるときに小説を注文したら、後回しにされんかったぞ。

わざとか？

待たされているので、その場から離れることも出来ず、もじもじしたり、天井を見つめたり、拳動不審の限りを尽くしてやった。

その様は、コンビニでいかがわしい本を買う思春期男子のごとし。

ようやく大量のお客様が減ってきた。

手のあいた店員さんが本を注文する手続きを始めたぞ。

こら、心臓め。

ばくばくうるさいぞ。

もうちょっとポリュームダウンしてくれい。

永い時が過ぎたように思えた。

店員さんが

「絶版です。」

と言ったよ。

その瞬間、注文しようか悩んだ一か月の苦悩、本屋に行ったけど注文する決心がつかずレジ前でうるうるした日々、ようやく決心してレジに並んだ時間、全てが消えた。

しかもだ、本の名前を書いた紙を、店員さんったら、レジに並んでいた30代男性に渡そうとしたわけだよ。

確かに、男が注文しそうな本だったけれども！

これはピンチ！

「あたしです！あたしです！本を注文したのはあたしです！」

もう、私は狂ったように叫んで、拳手して、ぴよんこらぴよんこらジャンプしたとも！

レジに並んでいたお客さんの冷やかな目は、今でも忘れないぜ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2270/>

---

本屋で自爆

2010年10月14日22時05分発行